



社会的ひきこもりから

自立への歩み

救われた

相談員先生のひと言

高校から登校拒否になり、24歳までひきこもり状態が続きました。何をどうしたらよいかかわからず、相談室を訪ねました。息子の状態や親の苦しみ・悩みを、緊張しながら話しました。静かに聴いておられた先生が、「時間がかかりますが、適切な対応と援助をすれば、どの子も必ず立ち上がります」のひと言で救われました。

相談回数を重ねる度に励まされ、息子の言うことに耳を傾け、変化を励みにしながらいま息子も29歳。アルバイトをしながら、やりたいものが見つかったと専門学校に通う毎日です。《母親》

親の理解と協力が一番重要です

ひきこもりの本人にとって、一番重要なのは親の理解と協力だと思っています。もちろん本人の力もありますが、それはだいたい元気にならないと無理です。元気になるために一緒に頑張るのは親です。

私は親に分かってもらうのに時間がかかりましたし、今でも100%ではありません。それでも私はバイトが出来るまで元気になりました。だから、いかに親の援助が子どもにとって大事かということを分かって欲しいのです。子どものSOSに気づいてください。耳を傾けてください。親に気にかけてもらえていただけでも子どもは嬉しくホッとします。《26歳・女性》

ご注文10冊ごとに
1冊進呈

ご注文・問合せ NPO法人 おおさか教育相談研究所

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町 12-14 たかつビル 2F

電話 06-6762-0232 (火曜・金曜 14:00 ~ 18:00) FAX 06-6768-2527

E-mail: kyoubun@minos.ocn.ne.jp http://kyoiku-sodan.main.jp/ 検索: 教育相談おおさか

必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。郵便振込用紙を同梱しますので、冊子到着後、10日以内に払い込みをお願いいたします。[送料は別途ご注文者負担]

1 注文書	ふりがな		書名	冊数
	お名前		社会的ひきこもりから 自立への歩み 頒価800円	冊
	お届け先	〒		
	TEL		FAX	